



2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月14日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
 コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 欣弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 金子 章裕
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5524-8725

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,723	14.0	84		75		64	
2021年2月期第2四半期	1,511	36.4	320		320		313	

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 55百万円 (%) 2021年2月期第2四半期 318百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	2.45	
2021年2月期第2四半期	11.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	4,843	4,265	88.1	161.60
2021年2月期	4,890	4,320	88.4	163.70

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 4,265百万円 2021年2月期 4,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		0.00	0.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,886	25.3	30		14		17		0.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	32,237,249 株	2021年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	2022年2月期2Q	5,844,059 株	2021年2月期	5,844,059 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	26,393,190 株	2021年2月期2Q	26,393,190 株

(注)2022年2月期2Qの期末自己株式数には役員に対する業績連動型株式報酬制度の信託口が保有する当社株式759,000株が含まれております。また、当該株式は期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

弊社では、例年開催しております投資家向け第2四半期決算説明会につきまして、当期は中止させていただきますこといたしました。

尚、本説明会の資料につきましては、後日当社ホームページにて掲載を予定しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は依然として継続しており、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置を受け、ヒトやモノの動きの停滞により企業活動は制限され、先行き不透明な状態が続いております。

このような経済環境下、雇用情勢については、個人消費の低迷等の影響を受ける飲食業、サービス業の採用活動は下げ止まりの傾向は継続しており、当社の戦略地域である静岡県においては2021年8月の有効求人倍率が前年同月比0.32ポイント上昇の1.23倍となりましたが、雇用環境の全面回復には至っていない状況であります。

このような状況において当社グループでは、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けていない『ワガシャ de DOMO』の拡販施策やオプション商品の開発に注力いたしました。静岡県内では新型コロナウイルス対策を施し、2期ぶりにリアルイベントである合同企業面談会『シゴトフェア』を開催いたしました。コストについては求人紙媒体に係る直接コストの印刷費や流通費の圧縮、他経費の全面的な見直し等を継続しております。

また、2021年7月26日に公表いたしましたとおり、2019年5月に株式会社三光アドとの合弁で設立した株式会社BizMoの株式を2021年8月31日付で株式会社三光アドに譲渡いたしました。これは、昨今の事業を取り巻く環境の変化などから、新たなスキームで事業展開を推進していくことが両社の企業価値向上に資するものと判断したためであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は1,723百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。売上原価は562百万円（前年同四半期比7.0%減）、販売費及び一般管理費は1,246百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。前年同四半期と比較し増収となったものの、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は当社が展開する人材マーケットでは解消されておらず、営業損失は84百万円（前年同四半期は営業損失320百万円）、経常損失は75百万円（前年同四半期は経常損失320百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は64百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失313百万円）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

（情報提供事業）

情報提供事業では、新型コロナウイルス感染症拡大による行動自粛や営業自粛により雇用環境が完全に回復しきれていない影響は継続しており、求人広告メディアの売上は下げ止まりとなっているものの、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』（サブスクリプション型課金モデル）の販売は拡大しており、売上高は1,429百万円（前年同四半期比17.3%増）、セグメント利益は226百万円（前年同四半期16百万円）となりました。

（販促支援事業）

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、顧客の販売促進費圧縮等による取次量の減少傾向は継続しており、また、イベント・レジャー関連企業の販促活動の停滞により、販促支援事業における売上高は303百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比166.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,843百万円（前連結会計年度末比0.9%減）、負債が578百万円（前連結会計年度末比1.6%増）、純資産が4,265百万円（前連結会計年度末比1.3%減）となりました。また、自己資本比率は88.1%となりました。

資産の部では、流動資産が3,860百万円（前連結会計年度末比3.3%減）となりました。これは、現金及び預金が3,419百万円（前連結会計年度末比2.0%減）、売掛金が356百万円（前連結会計年度末比2.4%減）等となったためです。

固定資産は983百万円（前連結会計年度末比9.5%増）となりました。これは、有形固定資産が571百万円（前連結会計年度末比1.2%減）、無形固定資産が237百万円（前連結会計年度末比71.2%増）、投資その他の資産が173百万円（前連結会計年度末比3.7%減）となったためです。

負債は578百万円（前連結会計年度末比1.6%増）となりました。これは、未払金が305百万円（前連結会計年度末比15.7%減）、賞与引当金が89百万円（前連結会計年度末比2.9%増）、未払消費税が40百万円（前連結会計年度は1百万円）等となったためです。

純資産は4,265百万円（前連結会計年度末比1.3%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が4,335百万円（前連結会計年度末比1.5%減）等となったためです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて69百万円減少し、3,419百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は16百万円（前年同四半期は227百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が75百万円、未払債務の減少額が53百万円等となった一方で、減価償却費が17百万円、法人税等の還付による収入が33百万円等となったためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は81百万円（前年同四半期は5百万円の収入）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が100百万円、関係会社への貸付金回収による収入が10百万円等となったためです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は2百万円（前年同四半期は185百万円の支出）となりました。これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出が1百万円等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期通期業績予想につきましては、2021年5月21日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,488,367	3,419,067
売掛金	365,678	356,902
その他	138,250	84,933
貸倒引当金	△506	△505
流動資産合計	3,991,790	3,860,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	107,302	103,375
土地	444,475	444,475
その他(純額)	26,986	23,897
有形固定資産合計	578,764	571,748
無形固定資産		
ソフトウェア	128,291	227,191
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	138,898	237,798
投資その他の資産		
その他	181,400	174,156
貸倒引当金	△688	△215
投資その他の資産合計	180,711	173,940
固定資産合計	898,374	983,487
資産合計	4,890,164	4,843,884
負債の部		
流動負債		
未払金	362,416	305,380
賞与引当金	87,177	89,690
株式給付引当金	—	5,670
事業整理損失引当金	—	4,236
その他	104,151	159,862
流動負債合計	553,746	564,840
固定負債		
リース債務	15,718	13,791
固定負債合計	15,718	13,791
負債合計	569,465	578,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,249	526,497
利益剰余金	4,399,879	4,335,057
自己株式	△1,076,000	△1,062,248
株主資本合計	4,320,125	4,255,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,684	12,339
為替換算調整勘定	△3,110	△2,391
その他の包括利益累計額合計	573	9,948
純資産合計	4,320,699	4,265,252
負債純資産合計	4,890,164	4,843,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	1,511,796	1,723,944
売上原価	604,325	562,247
売上総利益	907,471	1,161,697
販売費及び一般管理費	1,227,914	1,246,603
営業損失(△)	△320,442	△84,906
営業外収益		
受取利息	65	29
受取賃貸料	420	420
投資事業組合運用益	—	9,112
持分法による投資利益	—	4,812
その他	10,283	2,671
営業外収益合計	10,768	17,046
営業外費用		
為替差損	742	76
事業整理損失引当金繰入	—	4,236
関連会社株式売却損	—	1,867
その他	10,396	1,380
営業外費用合計	11,139	7,560
経常損失(△)	△320,813	△75,419
税金等調整前四半期純損失(△)	△320,813	△75,419
法人税、住民税及び事業税	1,136	1,387
法人税等調整額	△8,683	△11,985
法人税等合計	△7,547	△10,598
四半期純損失(△)	△313,266	△64,821
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△313,266	△64,821

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
四半期純損失(△)	△313,266	△64,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,733	8,655
為替換算調整勘定	12	719
その他の包括利益合計	△5,720	9,375
四半期包括利益	△318,986	△55,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△318,986	△55,446

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△320,813	△75,419
減価償却費	16,850	17,883
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△63	△474
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,466	2,512
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	5,670
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	4,236
受取利息及び受取配当金	△65	△29
支払利息	123	102
投資事業組合運用損益(△は益)	△268	△9,112
持分法による投資損益(△は益)	2,647	△4,812
売上債権の増減額(△は増加)	175,338	8,776
たな卸資産の増減額(△は増加)	377	16
未払債務の増減額(△は減少)	△139,387	△53,552
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,268	32,369
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	34,481
その他	△17,604	7,532
小計	△296,600	△29,819
利息及び配当金の受取額	10,577	13,935
利息の支払額	△123	△102
法人税等の支払額	△7,656	△1,711
法人税等の還付による収入	66,696	33,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	△227,106	16,172
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,230
無形固定資産の取得による支出	△4,911	△100,989
関係会社株式の売却による収入	—	10,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△335
敷金及び保証金の回収による収入	42	1,001
貸付けによる支出	△10,000	—
貸付金の回収による収入	20,000	10,000
その他	—	△168
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,130	△81,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,886	△1,906
配当金の支払額	△183,266	△834
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,152	△2,741
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,508	△1,009
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△408,636	△69,300
現金及び現金同等物の期首残高	4,164,982	3,488,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,756,346	3,419,067

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月26日 定時株主総会	普通株式	184,752	7	2020年2月29日	2020年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス関連)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む影響が当社グループの業績に及ぼす仮定について重要な変更はありません。

(役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社グループは、2021年4月8日付取締役会において、当社取締役(社外取締役を除きます。)の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、株式報酬制度(以下、「本制度」といいます。)の導入を決議し、2021年5月25日開催の第48回定時株主総会において承認決議されました。

(1) 取引の概要

本自己株式処分は、本制度導入のために設定される信託(以下「本信託」といいます。)の受託者である三井住友信託銀行株式会社(信託口)(再信託受託者:株式会社日本カストディ銀行(信託口))に対して行うものであります。本信託を通じて、当社取締役(社外取締役を除きます。)に対し、当社が定める株式給付規程に従って、役位、業績達成度等に応じて当社株式を給付する業績連動型株式報酬制度であります。なお、役員が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第2四半期連結会計期間末125,994千円、759千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,217,901	293,894	1,511,796	—	1,511,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,846	10,846	△10,846	—
計	1,217,901	304,741	1,522,643	△10,846	1,511,796
セグメント利益又は損失(△)	16,634	11,588	28,223	△348,666	△320,442

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△348,666千円は、セグメント間取引消去 2,239千円及び全社費用△350,905千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,429,199	294,745	1,723,944	—	1,723,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,850	8,850	△8,850	—
計	1,429,199	303,595	1,732,795	△8,850	1,723,944
セグメント利益又は損失(△)	226,807	30,885	257,692	△342,598	△84,906

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△342,598千円は、セグメント間取引消去 2,239千円及び全社費用△344,837千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。